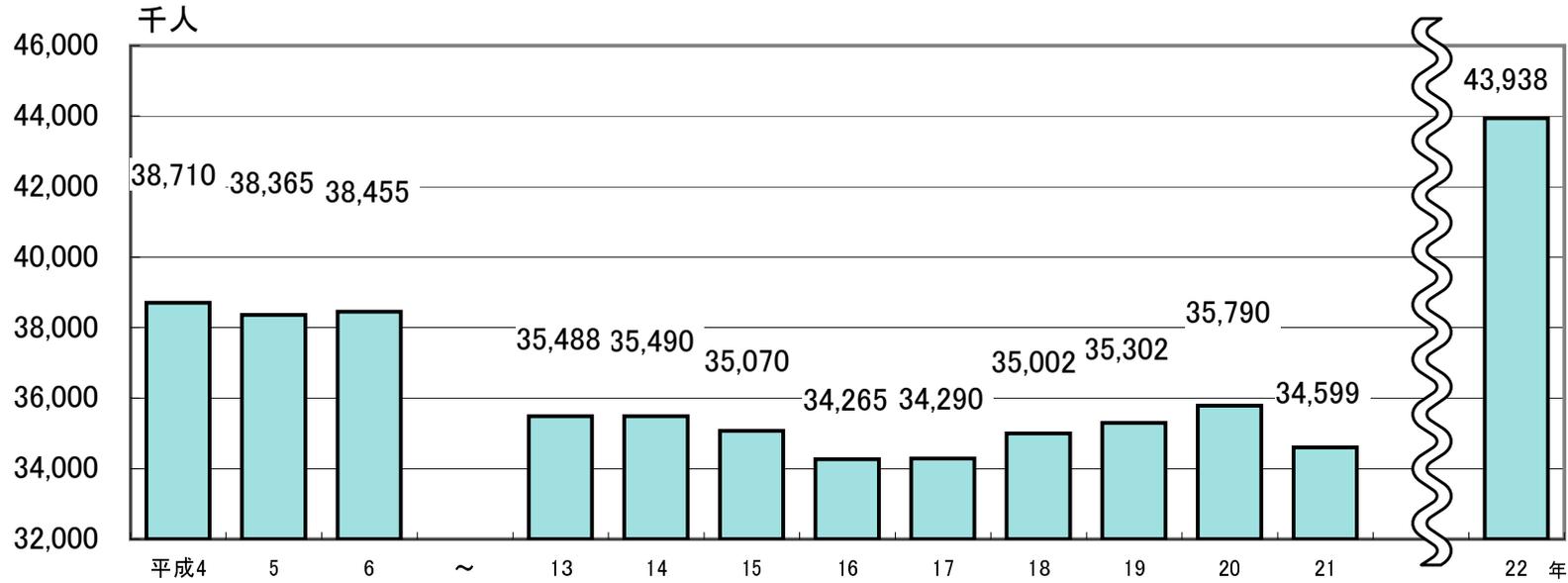


奈良県観光客動態調査報告書

平成22年（1月～12月）

奈良県観光局ならの魅力創造課

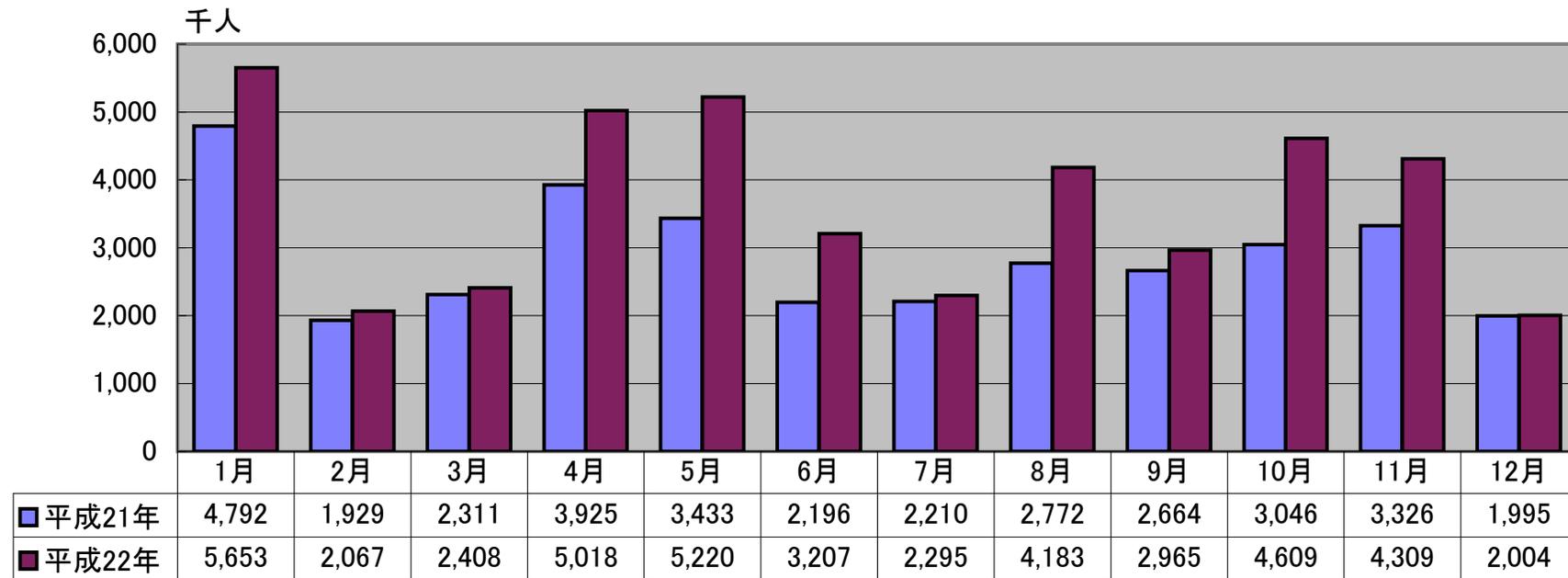
1. 奈良県への観光客数（年別）



- 平成22年の観光客数は43,938千人と推計。
- 平城遷都1300年祭のイベント開催の効果により大幅な増加。
(9, 339千人増。対前年比27%増)

※平成22年4月調査より観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し調査対象、推計方法を変更したため、前回調査までのデータと単純比較できない。

2. 奈良県への月別観光客数（平成22年）



すべての月で昨年より増加。
特に平城宮跡で春、夏、秋の各季フェアが行われた4～5月、8月、10～11月の観光客数が多かった。

3. 各 エ リ ア の 特 徴

エリア名	特 徴
A エ リ ア	平城遷都1300年祭のイベントや各寺院の特別公開等で観光客が大幅に増加したとみられる。平城宮跡には4/24～11/7の間で約363万人の来場者があった。
B エ リ ア	信貴山地域では信貴山朝護孫子寺が寅年と重なった影響で大変なにぎわいをみせた。また斑鳩方面では法隆寺などで特別開帳が行われ観光客が増加したと思われる。
C エ リ ア	桜井市の各寺院で行われた特別公開や万葉文化館での平山郁夫展、飛鳥資料館でのキトラ特別展など平城遷都1300年祭のイベントでにぎわった。
D エ リ ア	吉野山では金峯山寺の特別開帳等でのにぎわいをみせたが、十津川村、天川村など鉄道のないところではアクセスへの不安等から、平城遷都1300年祭の影響があまり見られなかった。

4. エリアを構成する市町村一覧

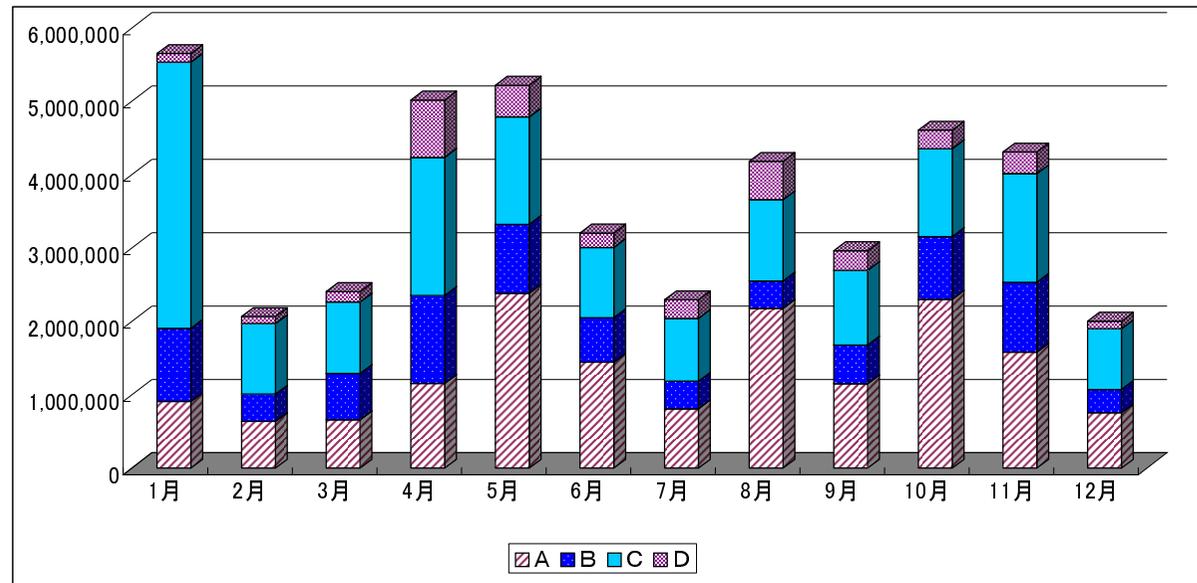
エリア	調査場所
A	奈良市、生駒市、山添村
B	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、高取町、明日香村
D	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

5. 奈良県エリア別・月別観光客数（平成22年）

（単位：人）

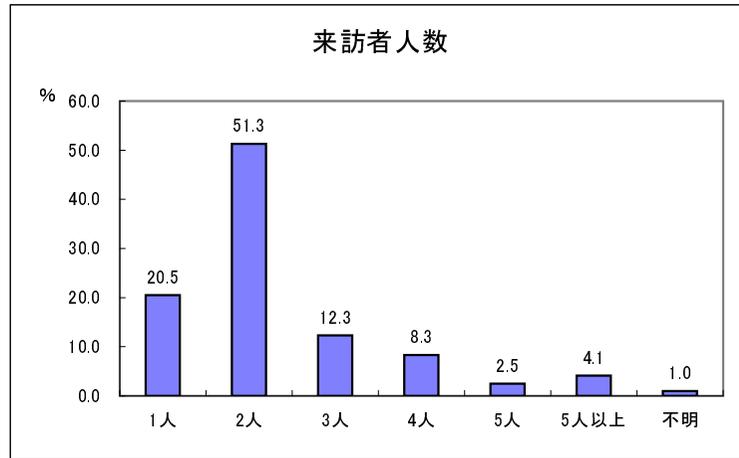
月 エリア	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A	909,000	638,000	659,000	1,154,000	2,385,000	1,444,000	810,000	2,180,000	1,150,000	2,302,000	1,582,000	755,000	15,968,000
B	999,000	373,000	631,000	1,202,000	940,000	609,000	375,000	373,000	530,000	856,000	953,000	319,000	8,160,000
C	3,625,000	959,000	976,000	1,882,000	1,464,000	956,000	859,000	1,108,000	1,018,000	1,198,000	1,480,000	826,000	16,351,000
D	120,000	97,000	142,000	780,000	431,000	198,000	251,000	522,000	267,000	253,000	294,000	104,000	3,459,000
計	5,653,000	2,067,000	2,408,000	5,018,000	5,220,000	3,207,000	2,295,000	4,183,000	2,965,000	4,609,000	4,309,000	2,004,000	43,938,000

エリア	調査場所
A	奈良市、生駒市、山添村
B	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市 葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町 川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町 広陵町、河合町
C	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村 御杖村、高取町、明日香村
D	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村 天川村、野迫川村、十津川村、下北山村 上北山村、川上村、東吉野村



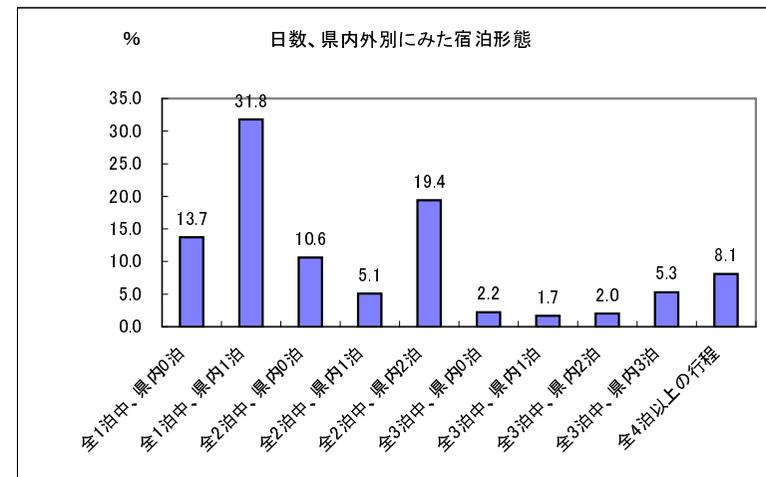
6. 観光客への聞き取り調査結果に基づく来訪者の旅行形態

(平成22年4月～平成23年3月調査 サンプル数2,926件)



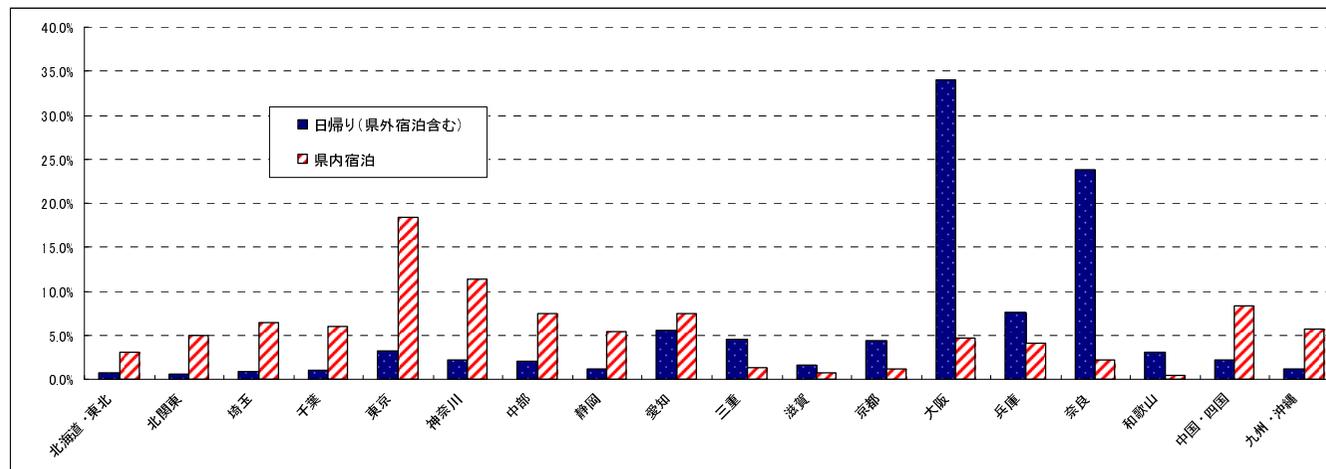
2人連れの来訪者が最も多く51.3%を占める。次いで、1人(20.5%)、3人(12.3%)と続く。

宿泊形態をみると、最も多いのが「全1泊中、県内1泊」(31.8%)で宿泊した人の3分の1弱を占めている。次いで「全2泊中、県内2泊」(19.4%)、「全1泊中、県内0泊」(10.6%)が続く。



7. 観光客への聞き取り調査結果に基づく来訪者の発地

(平成22年4月～平成23年3月調査 サンプル数2,926件)



区分	北海道・東北	北関東	東京圏				中部圏				近畿圏					中国・四国	九州・沖縄	計	
			埼玉	千葉	東京	神奈川	中部	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良				和歌山
日帰り	0.7%	0.6%	0.9%	1.0%	3.2%	2.2%	2.0%	1.1%	5.6%	4.5%	1.6%	4.3%	34.0%	7.6%	23.8%	3.0%	2.3%	1.2%	100%
宿泊	3.1%	5.0%	6.4%	6.0%	18.4%	11.4%	7.5%	5.4%	7.4%	1.3%	0.8%	1.2%	4.7%	4.1%	2.2%	0.4%	8.3%	5.7%	99%
計	0.9%	0.9%	1.3%	1.4%	4.4%	2.9%	2.4%	1.5%	5.7%	4.3%	1.5%	4.1%	32.0%	7.3%	22.4%	2.9%	2.7%	1.6%	100%

- ・日帰り観光客は近畿圏からの来訪者が74.3%を占め、最も多いのが大阪府の34.0%、次いで奈良県の23.8%、兵庫県の7.6%となっている。
- ・宿泊観光客は東京圏がトップの42.2%を占めており、次いで中部圏の21.6%となっている。
- ・九州・沖縄圏は日帰り観光客1.2%、宿泊観光客5.7%であるが、九州新幹線が開通したこともあり、この圏域に情報発信を行うことは観光客を呼び込むのに効果的である。

※回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県						
北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
北関東	茨城県	栃木県	群馬県				
中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県

地域ブロック	都道府県								
中国・四国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	